



CONTENTS

第一回医療通訳ボランティアセミナー	2
山梨の外国人医療を考える	
山梨の思い出 The memories of Yamanashi	
県海外技術研修員・県費留学生・派遣職員レポート	
多文化共生の現場から / JICA 通信	4
Relatos das experiências em Yamanashi	5
Ano da Integração Japão-Brasil	6
Voluntary Medical Interpretation Seminar II	7
YIA info 「ワールド チャリティー クリスマス」	8
Cooking @ Home イタリア料理「トマトとモッツァレラのペンネ」	
Information	9
YIA Event Calendar	10

第一回医療通訳ボランティアセミナーが平成19年11月25日(日)に開催されました。MIC かながわ(NPO 多言語社会リソースかながわ)の西村明夫氏にお話いただいたほか、県内の医療機関、NGO、外国人住民それぞれの立場からの報告を聞きながら、県内における外国人医療の現状について考えました。(P2をご覧ください。)

Foi realizado no domingo, dia 25 de novembro, o "1o Seminário para voluntários sobre termos médicos". O encontro contou com a participação de representantes da MIC Kanagawa (NPO da Província de Kanagawa) e diversas ONGs e estrangeiros residentes na província. Foi uma oportunidade para refletir sobre o atual sistema de atendimento de saúde japonês e como melhorar para auxiliar os estrangeiros. (Vide detalhes - em japonês na página 2)

The first Voluntary Medical Interpretation Seminar was held on Sunday, November 25th at the Yamanashi International Centre. Keynote speaker Akio Nishimura, from MIC Kanagawa (NPO Multi-language Information Centre Kanagawa) gave a speech and he provided feedbacks while listening to the Medical institutes, NGOs and foreign residents reporting the present medical situations in Yamanashi. (Please refer to P7 for more details)

第一回 医療通訳ボランティアセミナー 山梨の外国人医療を考える



多文化共生社会といわれる今、住民の誰もが安心して医療サービスを受けられるよう、医療機関等において外国人住民等へ言語サポートをする「医療通訳」の存在が大変重要になってきています。「医療通訳ボランティアセミナー」では、2回にわたりその役割や心がまえを学ぶとともに、今後の取り組みについて共に考えていきます。



平成19年11月25日、国際交流センターにおいて「第1回医療通訳ボランティアセミナー」を開催しました。

県内在住外国人の増加や定住、国際観光の振興による観光客の増加から、今、医療通訳の必要性が大きく求められています。

この日は「ことばと医療の問題を解く三つの課題 能力・制度・活動」と題して、神奈川県で医療通訳の派遣を行うMICかながわ（多言語社会リソースかながわ）のプログラム・アドバイザー 西村明夫さんより、医療通訳の必要性や課題などについてお話いただいたほか、山梨外国人

人権ネットワーク「オアシス」の事務局長 山崎俊二さん、山梨中央病院総合相談センターから医療ソーシャルワーカーの手塚満寿子さん、ブラジル出身で県内在住通訳の高田エジソンさん、それぞれの立場から外国人医療の現状について報告していただき、参加者の皆さんとともに山梨の状況について考えました。



だれにとっても大切な健康、そして命。だれもが言葉に困らず、必要な医療を受けられることを目指し、今後もセミナーを重ねていきたいと思います。

2月23日（土）に開催される「第2回医療通訳ボランティアセミナー」では、医療通訳実践の基礎を、ロールプレイを通じて学びます。詳しくは、山梨県国際交流協会のHPサイトをご覧ください。



* 各種多言語情報のご案内 *

多言語医療問診票

<http://www.k-i-a.or.jp/medical/>

日本語が話せない外国人が日本で病院へ行く前に、病気やけがの症状を医師に説明する手助けとなるように制作されたものです。診療科別に14言語に翻訳され、また各言語に日本語が併記されており、海外旅行の際にも利用できます。

（特活）国際交流ハーター港南台、（財）神奈川県国際交流協会

ママと赤ちゃんのサポートシリーズ

<http://www.rasc.jp/index.php?itemid=8>

日本で出産・育児をする外国人女性とその家族をサポートするため、中国語、韓国語、タガログ語、ポルトガル語、英語の5カ国語に翻訳されており、日本語対訳となっています。

多文化医療サービス研究会(RASC)

多言語生活情報

<http://www.clair.or.jp/tagengo/index.html>

外国人が日本で生活するために必要な生活情報が多言語で記載されています。病気や怪我、病院、保険などの医療に関する情報、交通事故や地震など緊急の問題に関する情報など幅広く多言語で記載されています。

地域国際化協会連絡協議会（財）自治体国際化協会

災害時多言語情報作成ツール

<http://www.clair.or.jp/culture/disaster/index.html>

災害が発生した場合や発生への恐れがある際に備えて、外国籍住民へ多言語による災害時情報の提供を目的として作成された、情報作成ツールです。6言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語）に翻訳されています。

（財）自治体国際化協会

Memories of Yamanashi

山梨の思い出

昨春来日し県海外技術研修員、県費留学生、派遣職員、自治体協力交流研修員の皆さんがそれぞれの研修を終え帰国の時期となりました。山梨での日々や研修の様子を振り返り、3人に代表してさまざまな想いを綴っていただきました。

出身／研修（研究） 内容／研修（研究）先

わたし、山梨、そして武士道

宣 軫午 Sun Jino

韓国／日本人と武士道／山梨県立大学

7年前感じた山梨と、今の山梨は全く違った感じだ。

ぶどう、馬刺しの山梨だったが、今は私が勉強しようとする武士道を学ぶの何よりの所だ。それは武田信玄が一世を風靡した所だからだ。

表では静かで住みやすい田舎みたいだが、武田の子孫らしく、荒いながらも穏やかで、足りないようで内的に充実、そんな所だ。

武士道は明治維新や帝国主義の発生において多くの影響を及ぼした。明治維新を主導した階級は地方の武士階級だったし、彼らは日本軍の軸になった。盛んだった武士道は2次世界戦の終戦と共に戦艦'大和'と一緒に沈んだ。また、武士道が意味した'大和魂'はその生命力をつくした。しかし武士道は近代的意味の武士だった日本帝国陸軍制の廃止といっしょに消えたのではなかった。武士道は日本人の心の中に深く残っていたのだ。ある国民性を構成しているさまざまな心理的要因の集合体は簡単には消えないことで民族の心の中に相変わらず残っていた。武士道によって教えられた多くの遺産は非常に日本特有なことだったし、外勢のどんな国々も侵犯することのできない尊い領域なのだ。

現代日本人にとって、武士道というのは具体的に体験することはできない。戦前の中学校では義務的に葉隠を教えたが、終戦後、教育制度の改編と共にそれも消えた。現在、日本の大学生に直接インタビューしてみた結果、"武士道は具体的な学問に成立されることのできない、現在日本で教えてもいない"と答えた。しかし果たして彼らの'日本の魂(The soul of Japan)'は旧時代の遺物と転落してしまっただろうか。私はそうは思わない。

武士道は刀をでたらめに振り回すのだと思われがちだが、無智で暴悪さを阻むために武士道が誕生したし、武士道は儒教思想と結合して、武士をいっそう粹にさせたし、支配層の道徳性を確保するのに助けになった。しかし、名誉を命に変える一種の無分別な過ちを犯す点が惜しい。

ここ武田の地で武士道に対する私の探究は続くでしょう。



かけがえのない経験 そして 思い出

望月 美恵 Mochizuki Mie

パラグアイ/理学療法/加納岩山梨リハビリテーション病院

山梨県へ来て早7ヶ月、色々な事がありました。どれを思い出しても昨日のことのようにはっきりと覚えています。日本に來日したのは山々が藍々と茂る初夏でした。初めて祖父母が生まれ育った国日本へ来たときは、とても言葉では言い表せられない感動でいっぱいでした。

山梨県甲府市にある国際交流センターで、日本語研修を受けながらの生活が始まりました。知らない国、知らない場所での生活、不安でいっぱいになってもおかしくないのに不思議なことに私にはとても心地よく、おちつく場所でした。一ヶ月の間、日本語を教えてくださいました先生方は、とても明るくユーモアにあふれていて、楽しく勉強することができました。私達にたくさんの愛情を持って教えてくださいました先生方、終了式では感謝の気持ちでいっぱいになり、涙があふれ出てきました。

7月からは、山梨リハビリテーション病院にて理学療法の研修が始まりました。最初の一ヶ月間はなれない場に緊張し、分からない医学用語に悪戦苦闘し、なかなか覚えることができなかった医学用語に不安でいっぱいになる毎日でした。でも、たくさんの人に支えていただき、いつの間にか友達も増えて色々な勉強会に参加することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

プライベートでも、「夢のディズニーランド」、「温泉」、「石和花火大会」、「忘年会」、「坂本さんの結婚披露宴」と色々声をかけていただきました。中でも一番嬉しかったことは、私の誕生日を祝っていただいたことです。病院の女友達6名でピザ、サラダ、フライドチキン、そしてケーキを準備してくれました。あまりの感動に嬉しくて涙がでました。

又、研修生全員と過ごしたこの7ヶ月間、友達としてではなく家族同様なカタチで過ごせてとても楽しかったです。夢中で食べた「サクランボ狩り」、楽しかった「フェスタジュニナ」、「インターナショナルフェスタ」や「ワールドチャリティー クリスマス」、子供たちと過ごした「清里 キャンプ」、頑張った「富士登山」、とっても綺麗だった「市川の花火」、新しい出会いがあった「甲府商業高校訪問」、「農林高校収穫祭」、そしてたくさんの思い出ができた「広島-京都旅行」、みんな大切な思い出として私の心に残っています。このような素晴らしい出会いとたくさんの経験を与えてくれた方々に、心から感謝しています。

本当にありがとうございました。



研修を振り返って

李 莎 Li Sha

中国/日本の地方行政/山梨県企画部県民室国際課

日本に着いた時は初夏のちょうどよい気候の頃でした。暑い夏を送って、やっときれいな紅葉の季節を迎えました。窓から見える富士山が雪を着ていることに気が付くと、冬がもうこっそり来ました。「光陰矢のごとし」というように、あっという間に日本での研修はもう8ヶ月経ちました。この間、感謝すべき四川省側と山梨県側の人がたくさんいます。日本で一年間の生活は一生でも大切な財産になると信じています。

大学の時、日本語を勉強し始めました。でも、日本という国がどんな国か、日本人がどんな民族かはっきり分かりませんでした。勉強するにしたがって、だんだん日本文化に興味を持つようになりました。茶道の中での「和、静、清、寂」などの哲学、三味線の音律、着物の美しさ、日本の「温泉文化」などなど。日本文化がそんなによく保護されていたことに驚きました。それから、どうして日本文化がよく保護されたのかという疑問が出てきました。私は、文化を続けるのは人、人を育てるのは教育だと考えています。日本に滞在している間、いろいろなイベントに参加したり、学校訪問をしたりしました。日本の教育制度に驚いたとともに、日本の教育制度は本当にすばらしいと思いました。

日本に来て最初の3ヶ月、日本語学校へ通いました。授業の内容は日本語能力試験一級を目指すものでした。私はすでにパスしていましたが、忘れていたことが多かったので復習として勉強しました。授業はおもしろかったです。先生も学生も優しかったです。その時、学校活動の一環として、皆と一緒に「ボーリング大会」「東京ディズニーランド」へ行きました。普通の日本語学校でそのようなイベントをたくさん行うことに驚きました。

7月21日、22日小学生と一緒にキャンプを体験しました。人生の中での初めてのキャンプでした。料理を作ることからテントに泊まることまで、今も深く印象に残りました。自然への挑戦より自分への挑戦、団体への挑戦というほうがいいと思います。「シェシェ」「カムサムニダ」「グラシャス」「オブリガーダ」「サンキュー」など、「ありがとう」の意味を各国語で表したグループに分かれ、この点に国際的な人を育てる目標が見えました。各グループの料理作りもおもしろ

かったです。料理を準備する、火をおこす、グループで行う意識が十分表れていました。それで出来上がった料理はなによりもおいしかったです。「国際貿易」というゲームはとても有意義でした。もらえる紙と道具がグループによって違うので、できあがる三角形と長方形と円形が違います。そして、時間によって三角形と長方形と円形が売れる値段が違います。ですから、各グループに間に商売という協力というか盛んになりました。紙は資源で、ハサミは技術でした。それによって、国際協力が大切ということをお教えるものでした。私は最初にゲームの意味が分からずに始めましたが、最後そのような意味があるのに納得しました。「いいゲームだ」と心から感心しました。それをきっかけに、日本文化と日本人、さらに日本教育と切り離すことはできないと考えました。夜、テントで泊まるのにも勇気をいっぱい出しました。一匹の蜘蛛が私の顔にきたことは一生忘れられないできごとです。

四川省と山梨県は姉妹締結をしているため、いろいろな交流を行っています。幸いにも、四川省教育庁の訪日団が訪問した時、通訳として学校訪問をしました。小学校から大学まで、日本の教育と深く触れることができるチャンスももらえました。科目の設置やクラブ活動や教師の選抜、審査、さらに給料の制度など紹介してくれました。いろいろな感想があります。国にとっては、国の将来に関する子供を大切にしなければなりません、人材を育てるには教育をしっかりしなければいけないのです。日本が先進国になれるのは長い間教育を重視していることと切り離せないと思います。

あと少しで帰国します。いろいろ勉強しました。学んだことを持って帰って友達に伝えて、将来の仕事にもきっと役立てられると思います。いろいろ勉強させていただいた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。この場を借りて、お世話になった友人の皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました！



amiguitos e amiguinhos

アミギートス エ アミニニョス

南米国籍の子どものための託児所。現在27人の就学前の子どもを預かる。施設の名前はスペイン語とポルトガル語で「おともだち」の意。中央市布施。



ペルー出身の日系2世、知念イザベルさんが南米の子どもたちを預かり始めたのは6年前。背骨にハンディを背負って生まれた、当時3才だった孫のニコライ君の面倒を、働く娘の代わりに見ていた時。周りの多くの南米出身の母親たちもやはり、働きに出るために子供を預かってもらえる場所を探していました。

来日前は13年間ペルーのNGOで貧困層の子どもたちへ支援活動をしていたイザベルさん。「子どもたちには、夢と希望を持ちながら大きくなっていく欲しい。」と、託児所を開設しました。

朝7時半、子どもたちへの朝食から始まる一日。日曜以外は毎日就学前の子どもたち27人を預かります。一番多いのはペルーの子ども、そしてブラジル、チリ、ボリビア。働く両親のお迎えが遅い子には夕食を食べさせ、最後の一人が家族の元に帰るのは毎日夜9時を過ぎます。

「今の日本の状況は、かつて日本人がペルーに移住した時に似ている。自分から社会に入っていかなければ、何もうまくいかない。母国の文化を大切にしながらも、ここ日本の文化を受け入れて飛び込んでいく姿勢が大切だと私は思っています。」と、イザベルさん。日本で生まれた子どもたちに、母国の文化や言葉を教えながら、季節の行事を通じて日本文化を感じてもらいたいと考えています。



「課題はたくさんあります。でも、一步一步進んで行きたいと思っています。子どもたちが大好きだから。」と話していました。



JICA 山梨デスク 松岡
 (財) 山梨県国際交流協会内 Tel.055-228-5419 Fax.055-228-5473
 e-mail jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp JICA <http://www.jica.go.jp>



みなさんこんにちは！ JICA 山梨デスク松岡です。
 今回は、南アルプス市出身の青年海外協力隊、深澤弘晶さんから届いた活動報告です。深澤さんは、2007年3月26日から、中米・セントルシアで養殖の分野で活動しています。それでは、活動報告をお楽しみください。

深澤弘晶 (ふかさわ ひろあき)
18-3次隊 養殖 セントルシア
 (中米カリブ海に位置する火山島 面積は淡路島と同様)



こんにちは！深澤です。山梨は寒いでしょうか？こちらセントルシアは相変わらず暑いです。常夏です。日中は32度くらいです。ただ、夜になるとだいぶ涼しく感じるようになってきました。一応冬というものもありましたがもうだいぶあたたかくなっています。

さて、こちらに赴任して半年以上経ちました。あっという間です。私は農林水産省水産局、養殖部門に所属しており、養殖場勤務が中心です。ここでは、オニテナガエビとティラピア(魚)の種苗生産を行っています。

日本ではあまり馴染みのない種類のエビと魚ですが、熱帯、亜熱帯地域では広く盛んに養殖されている種類です。そして海水ではなく淡水の養殖種です。種苗生産とは、人工的に、稚魚、稚エビの生産を大量に行うことです。(日本では主に水産試験所が行っています)。これらの種苗は全て養殖農家に売られます。その後養殖農家が収穫サイズになるまで半年間育て、マーケットに売り彼らは収入を得るわけです。



私の活動は、養殖場で、池及び親エビ、親魚の管理(給餌、水交換)の補助や、種苗生産の補助、適正な新飼料(餌)の開発、また養殖農家に対する巡回指導、成長確認のための定期採集チェック(サンプリング)、収穫の手伝いなどです。

セントルシア国内に点在する約30の養殖農家を対象にしていることと、各農家の池がとんでもない山奥にあることが原因で養殖農家に対する活動がなかなかうまくいきません。一人では農家の訪問が不可能に近いので、彼らの車に同乗して行くのですが、彼らのペースに合わせているとなかなか効率よくいかないこともあります。

私の赴任後、政治的な背景により、台湾の全面援助による新養殖場の建設が急ぎよ決まりました。そして今の養殖場は閉鎖されてしまうようです。(現在の養殖場は築20年近く経ち、あらゆるものが老朽化しています。)そのため準備が急ピッチで台湾人専門家の手で進められています。来年の5月(あくまで予定)稼働に伴い私の引越しも余儀なくされる予定です。しかしのんびりしたお国柄なので、私が帰るまでに完成しないかもしれませんが。

生活面では、もともとのんびりした性格ということもあり、こちらの生活には割り早く慣れてきました。私が住んでいるところはセントルシアの南部に位置する、ビューフォートという第2の都市の中心部から車で20分ほど走った田舎です。というわけで、人々も友好的で、のんびりです。知らない人であっても、すれ違う人はみんな笑顔で挨拶してくれます。それだけで良い1日だなあと感じてしまいます。そして皆良く笑います。口論していたかと思えば、次の瞬間には笑い合っています。

日本では仕事に追われ、時間に追われ生活していた自分。日本では多くの人がそうですが、日本を離れてみるとそのことを実感します。人々が楽しく毎日を生きているのを目の当たりにし、人生は仕事だけじゃないんだなあと考えさせられています。

多くのことを学びながら、現地の人々と活動を続ける深澤さんの報告、いかがでしたか？国際交流センターの1階の情報コーナーにJICAのブースを設けています。今回の深澤さんの活動報告や、ペナンで活動中の横内さん(甲斐市出身)の活動報告も展示しています。ぜひ一度足を運んでみてください♪



お客様の“満足”が、
 アド井上の主力商品です。

印刷全般 ホームページ作製 データ作製・管理
 その他、“困ったこと”のお手伝い

アド井上はヴァンフォーレ甲府を応援します!



株式会社 アド井上

〒409-3845 山梨県中央市流通団地3-4-5
 TEL055-273-6141・FAX055-273-6144
 URL <http://www.ad-inoue.jp/>

Voluntary Medical Interpretation Seminar II

Yamanashi is growing to become a multicultural prefecture where it is currently accommodating over 16000 foreign residents and increasingly on tourist numbers; among them there are different ethnic and cultural groups. Different cultures have different definitions of medical and mental care services, as a result, what is considered a serious illness in one country may not be considered as a serious illness in another. For a non-Japanese speaker to convey one's exact symptoms, communication plays a very important role in order to receive the right treatment. Consequently, medical interpretation volunteers are in demand.

Yamanashi International Centre held the first Voluntary Medical Interpretation Seminar on Sunday, November 25th. The aim was to improve and promote a better multicultural health care in Yamanashi. Akio Nishimura, from MIC Kanagawa (NPO Multi-language Information Centre Kanagawa), participated as a keynote speaker and had given a presentation on how to solve the communication problem between doctors and patients from the perspective of the volunteers' language skills, and current medical system.

Akio Nishimura has been working for the Kanagawa Prefecture Office for many years, whose specialty lies in the area of international exchange issues and supporting foreign residents in Kanagawa prefecture. Later, after he left the prefecture office, he started to get involve in organising programs for developing professional interpreters on voluntary base, putting together useful living and health information for foreign residents in different languages.

Mr. Nishimura felt a great necessity to increase interpreters who have both Japanese and their native language skill as well as little medical knowledge. After his speech, speakers from Yamanashi Human Rights Network for Foreigners and, Yamanashi Central Hospital gave their statements on existing and ongoing issues. Local Brazilian resident working as an interpreter also

expressed his concerns on the shortage of interpreters. Mr. Nishimura gave feedbacks after listening to all the reports. Before the seminar ended, everyone was invited to discuss their experiences.

As a foreign resident, you may or may not have encountered this kind of helpless situation before; if you have, then you'd understand. But if you haven't, then you could prepare yourself to help others. The Voluntary Medical Interpretation Seminar II will take place on **Saturday, February 23rd at the Yamanashi International Centre from 10am to 3pm.** The speaker Megumi Matsunobe, from MIC Kanagawa (NPO Multi-language Information Centre Kanagawa) will talk about how to prepare yourself as an interpreter at the spot, and then there will be a role-playing in English, Chinese and Portuguese. So, if you know these languages and are fluent in Japanese, why not join the seminar and you might be surprised how much you could learn from it.

Useful websites in different languages:

*** Multilingual Medical Questionnaire**

(<http://www.k-i-a.or.jp/medical/>)

This website provides you with useful information on how to explain your symptoms to doctors.

*** Council of Local Authority for International Relations** (<http://www.clair.or.jp/e/index.html>)

The website is provided by The Council of Local Authorities for International Relations (CLAIR). CLAIR was created to promote and provide support for local internationalisation.

*** Support Line for foreign mums in Japan**

(<http://www.rasc.jp/index.php?itemid=8>)

The website provides information on family and domestic support for foreign mums. This is currently in Japanese only and will start providing more languages in the future.



カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

甲 府 支 店

国土交通大臣登録旅行業第20号 / (社) 日本旅行業協会会員

〒400-0031 甲府市丸の内2-1-1

TEL 055 (228) 7311 FAX 055-222-8600

営業時間 月～金 09:15～17:30

休業日 土曜・日曜・祝日・年末年始

World Charity Christmas ワールド チャリティー クリスマス

平成19年12月8日(土)



毎年恒例のワールド・チャリティー・クリスマス。今年は、スティールパンの演奏や、台湾舞踊、アフリカンジャンベなどさまざまなパフォーマンスとともにお届けしました。

参加費やオークション、また、各国料理屋台の売り上げなど収益金 149,406 円は今後、新潟中越沖地震で被災した子どもたちのために使わせていただき、当日集められたおもちゃ&文房具はペルー大地震で被災した子どもたちに送らせていただきました。皆さまのご協力、ありがとうございました。



ソロプチミスト山梨、富士ゼロック山梨(株)、(株)小林事務機、(株)正直堂、三菱UFJ証券(株)甲府支店、(財)シルクの里振興公社、山梨中央銀行(株)湯村支店、(株)五光 甲府店、東京ガス(株)甲府支店、ピタゴラス山梨校、ユニマツト、山梨台湾総会、近畿日本ツーリスト 甲府支店(敬省略) その他ボランティアの皆さま、ご来場いただいた皆さま
ご協力ありがとうございました!

World Charity Christmas

クッキング@ホーム



カナダで生まれ育ったステファノ ヴィエロさん、小さい頃からご両親の出身のイタリア料理に親しみ、イタリア文化を大切に思ってきました。現在、甲府市内の幼稚園に勤務するかわら、当協会のイタリア語講座の講師を担当してくれています。

パパが作るイタリアンデッシュ、2人のかわいい娘さんたちにも大人気だそうです。シンプルだけど美味しい一品、ぜひお試しください!

*ステファノのイタリア語講座は、いつも大人気

トマトとモッツァレラのペンネ (イタリア家庭料理)

材 料 (約2~3人分)

トマト・・・・・・・・・・・・・・3コ
モッツァレラチーズ・・・・・・・・100g
ペンネ・・・・・・・・・・・・・・250g
玉ねぎ・・・・・・・・・・・・・・1/4コ
にんにく・・・・・・・・・・・・・・1かけ
オリーブオイル・・・・・・・・大さじ2
オレガノ、ローズマリー・・・・・・・・少々
調味料<塩、こしょう>



作り方

- 食べやすい大きさに切った、トマトとモッツァレラチーズに、みじん切りにしたにんにくと玉ねぎ、オリーブオイルを加えてよく混ぜる。
- ローズマリーと、オレガノで香りをつけ、塩こしょうで味を整える。
- ペンネがゆで上がる間に、少し寝かせて味をなじませ、ゆでたペンネに絡ませてできあがり!

御見積依頼大歓迎!!

当社の見積を見れば絶対納得できます!
まずは、お電話か、FAXで見積依頼を!

業務内容

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カード・DM
各種伝票・パンフレット・ポスター・各種冊子類 etc.....

印刷に関することなら

有限会社 西山総合印刷所

〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町165-8

TEL 055-241-4112

FAX 055-241-4112

Information

JICA 青年研修 ホストファミリー募集!

JICA 青年研修事業として、ケニア、エチオピア、南アフリカ、ガボン、セネガル、マダガスカルから15名の研修生が山梨を訪問します！みなさんのご家庭でホームステイを体験させて下さい。

■ホームステイ期間

平成20年3月14日(金)～16日(日) 2泊3日

■予定

14日午後2時～16日午後2時半まで、それぞれホストファミリーと過ごしていただきます。キープ協会までの送り迎えをお願いいたします。

* JICA 青年研修について

<http://www.jica.go.jp/infosite/schemes/seinen/index.html>

問合せ/ホストファミリー申込み

(財)キープ協会 吉田裕史 h.yoshida@keep.or.jp

〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545

Tel.0551-48-2114 Fax.0551-48-3575

第2回やまなし日本語スピーチコンテスト!

山梨で生活する外国人は約1万7千人。子育てや仕事など、日々の生活の中で思ふさまざまなことを発表していただけます。

いつもと違う視点から、ここ山梨を見つめてみませんか。

■日時 平成20年3月2日(日) 午後1時30分～

■会場 山梨県立国際交流センター

■観覧無料

■定員60人

■コンテストへ出場希望の方には、こちらをご案内ください

<http://www.yia.or.jp> 実施要項、及び応募用紙

■主催 (財)山梨県国際交流協会 山梨日本語ボランティアの会

■協賛 国際ソロブチミスト山梨

問合せ/申込み

(財)山梨県国際交流協会 Tel.055-228-5419 webmaster@yia.or.jp

YIN 情報!

Yamanashi International Network

やまなしインターナショナルネットワーク

多文化共生講演会 アフリカン アメリカン歴史月間スペシャルプログラム

「アフリカ系アメリカ人の目から見た、日本」

講師/駐日米国大使館 科学・技術・環境部

科学・技術担当書記官 エイヤナ ホブbs Ayanna Hobbs さん

■日時 平成20年2月9日(土) 午後1時30分～

アメリカの多文化共生社会や African American History Month の意義などについてお話いただくほか、午後3時00分からの交流会では、魂の響き「ゴスペル」もぜひお楽しみください。アフリカ系アメリカ家庭料理の試食や、県内在住ガーナ人によるジャンベの披露もあります！どなたでも参加できますので、お気軽にどうぞ。

■参加費 500円

■主催 やまなしインターナショナルネットワーク

問合せ/申込み

事務局 (財)山梨県国際交流協会

Tel.055-228-5419 webmaster@yia.or.jp

フィリピンの子供たちに救援の手を!

古切手、ベルマーク、使用済テレフォンカードなどをお送りください。

バグサンハン児童救援協会

The Council for the Protection of Children in Pagsanjan

フィリピンのバグサンハン市及びオロンガポ市における、児童売買春絶滅のため、救援活動を続けています。

救援物資の送料にあてるため、古切手、ベルマーク、使用済テレフォンカードをお送り下さい。(古切手は周りに1cmの余白を残してください。)

問合せ/送付先

心身障害者通所授産施設 勝沼授産園

409-1303 山梨県甲州市勝沼町小佐手 633-1

Tel.0553-44-2903 / Fax.0553-44-2904 kaznumaj@carrot.ocn.ne.jp

会員募集中!

山梨県国際交流協会では、会員を募集しています。機関誌や各種事業のご案内をお送りするほか、語学講座受講料割引等の特典があります。

団体会員 1口5,000円、個人会員 1口2,000円

国際交流センターをご利用下さい

国際交流センター会議室の貸し出しを行っています。

会議室使用料

	午前	午後	夜	全日	超過料金
	9:00a.m. } 12:00a.m.	1:00p.m. } 5:00p.m.	6:00p.m. } 9:00p.m.	9:00a.m. } 9:00p.m.	1時間 Per hour
大会議室 Large Conference Room	2,200円	3,310円	3,310円	8,830円	730円
小会議室 Meeting Room	720円	1,100円	1,100円	2,910円	240円

会員登録をありがとうございました!

個人会員 (入会順・敬称略)

11月 清水とける 佐藤 薫 佐々木 勉 和光 茂

12月 佐藤 光子 松川 裕子 清水 美知代

YIA Event Calendar

2月

国際サロン「ハッピー旧正月」

多くのアジアの国の人々にとって旧暦により新年を迎える旧正月は大切な祝日です。正月料理やゲーム、パフォーマンスを体験しながら、旧正月の雰囲気をお楽しみください。

と き 平成20年2月3日(土)
ところ 山梨県立国際交流センター
参加費 500円

第2回 医療通訳ボランティアセミナー

心がまえから、実際の医療現場を想定したロールプレイにより医療通訳の基礎的な対応を実践的に学ぶ、入門編です。対象言語で日常会話ができ、医療通訳に関心がある方が対象です。経験は問いません。

と き 平成20年2月23日(土)
午前10時～午後3時
ところ 山梨県立国際交流センター
参加費 無料
対象言語 英語、ポルトガル語、中国語

3月

第2回 やまなし日本語スピーチコンテスト

山梨で生活する外国人は現在約1万7千人。子育て仕事など、日々の生活の中で思うさまさまざまなことを発表していただきます。いつもと違う視点から、ここ山梨を見つめてみませんか。

と き 平成20年3月2日(日)
午後1時30分～5時
ところ 山梨県立国際交流センター
観覧 無料
定員 60人

Fevereiro

Ano novo chinês

O Ano Novo Chinês é celebrado em diversos países asiáticos. Participe deste evento e conheça a riqueza da cultura milenar chinesa.

Data: Domingo, 3 de fevereiro de 2008.
Horário: Das 13h às 16h30.
Local: Yamanashi International Center, em Kofu
Entrada: 500 ienes

2o Seminário para voluntários sobre termos médicos.

Voltado para pessoas que tenham conhecimentos da língua japonesa. O curso será focado aos falantes da língua inglesa, chinesa e portuguesa.
Inscrições com antecedência.

Data: Sábado, 23 de fevereiro de 2008.
Horário: Das 10h às 15h.
Local: Yamanashi International Centre em Kofu
Não há taxa de participação.

Março

2o Concurso de oratória em língua japonesa para estrangeiros.

"Viver em Yamanashi" é o tema desta segunda edição do Concurso de Oratória para estrangeiros. Os interessados em se apresentar podem se inscrever entrando em contato com a senhoa Sakagami da Associação Internacional de Yamanashi. Os interessados em apenas assistir às apresentações, podem comparecer no dia sem inscrições prévias.

Data: Domingo, 2 de março de 2008. Das 13h30 às 17h.
Local: Yamanashi International Center, em Kofu.
Entrada franca.

February

[Happy Chinese New Year]

Chinese New Year is an event that marks the passing of one year for many countries in Asia. Each country celebrates it in its own unique way. If you'd like to see them all in one time, then you should not miss this event. We look forward to seeing you there!
Time: Sunday, February 3rd. 13:00 ~ 16:30
Location: Yamanashi International Centre
Entrance Fee: Adults: 500 Yen
Under high school: Free

[Voluntary Medical Interpretation Seminar]

If you know English, Chinese or Portuguese, you should come along and join the seminar. Please refer to P7 for more details.
Time: Saturday, February 23rd. 10:00~15:00
Location: Yamanashi International Centre
Entry Free

March

[Yamanashi Japanese Speech Contest II]

The Yamanashi International Centre is Inviting all foreign residents in Yamanashi to show off your Japanese and express your opinions about living here! No matter you are a beginner or very fluent in Japanese, YOU ARE ALL WELCOME!!!
Time: Sunday, March 2nd. 13:00~15:00
Location: Yamanashi International Centre
Entry Free



編集後記

年の始めに身延山久遠寺にお詣りしました。煩惱を捨てたあとの「涅槃」を表す287段の階段を、ゆっくりと一歩一歩足もとを見つめながら歩くと、煩惱だらけの私もちょっと涅槃に近づいた気がしてくるからおめでたいものです。はやばやと赤くふくらみはじめた梅のつぼみを眺めながら、しばし神聖な場所に身を置いて、日々の生活を振り返りました。国際交流センターでの仕事も、ボランティアの皆さんや周りの仲間たちなど、多くの人に支えられて在ることに感謝しつつ、その力をいただきながら今年もがんばろうと思います。
坂上

Caros Leitores, Durante as celebrações natalinas e de fim de ano, fui até a metade do caminho ao Brasil e aterrissei na Cidade do México e em Miami. O reencontro com velhos amigos me trouxe à lembrança recordações da época em que cheguei no Japão, as dúvidas, as incertezas, os desafios e os sonhos incontáveis. Três anos se passaram e chegou o ano de 2008, que para o Brasil marca o início de novas páginas dos laços nipo-brasileiros, e para mim - recuperada do acidente de percurso -, fica como o marco de um renascimento pessoal em que busco novos desafios acadêmicos e profissionais. Votos sinceros de um ano repleto de muita saúde e paz para todos e que 2008 seja "O Ano da Integração".
Érica

Winter is the perfect time to enjoy the hot springs in Yamanashi. I heard that there is a really good one near Yamanakako called "Beni Fuji". Accordingly, you can enjoy the view of Mount Fuji while soaking in the hot spring. Japanese people love to use the expression "tsuru tsuru" to describe one's smooth skin. Apparently, soaking in the hot spring is one of the way to keep your skin "tsuru tsuru". Even my mum would come all the way to Japan for a soak in the hot spring. If you know any good ones, please do share, so we can all have beautiful "tsuru tsuru" skins.
Yi-Mei

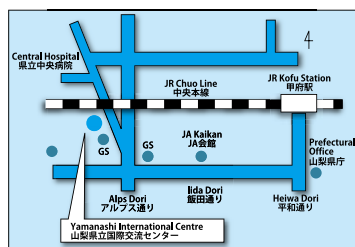
Yamanashi 2008年2月・3月号

- 発行 財団法人山梨県国際交流協会
- 編集 坂上敬子 田中エリカ イーメイ・リー
- Published by
Yamanashi International Association
- Edited by
Keiko Sakagami Érica Tanaka
Yi-Mei Lee

The International centre is open daily from 9:00am to 9:00pm except on Mondays and on the day following a national holiday.

URL www.yia.or.jp

MAIL webmaster@yia.or.jp



〒400-0035 甲府市飯田2-2-3
tel 055-228-5419 fax 055-228-5473
2-2-3 Iida, Kofu-Shi, Yamanashi-ken,
Japan 400-0035